

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港国際旅客ターミナル整備事業	実施計画 記載頁	154	
対応する 主な課題	那覇港は日本有数の国際クルーズ船寄港地であるが、旅客ターミナル等が整備されていないため、利用者は炎天下や雨天時に移動を強いられるなど利便性や快適性に課題を抱えている。今後は、クルーズ船誘致に向けた更なる取組強化とともに、安全性・快適性・利便性の確保など観光客の受入体制の充実に向けた対応が必要である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	クルーズ船利用者における安全性・快適性・利便性の確保及びクルーズ船誘致に向けた取組強化に向け、旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ、岸壁等の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ着工	旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ完成	旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ供用開始				国 那覇港管理 組合
	岸壁、旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ等の整備						
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港国際旅客ターミナル整備事業	国直轄	国直轄	那覇港における泊ふ頭地区の旅客ターミナル整備事業の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁 4-(1)-ウ 328頁
那覇港国際旅客ターミナル整備事業	那覇港管理 組合	那覇港管理 組合	泊ふ頭地区の旅客ターミナル整備、ボーディングブリッジ整備事業の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁 4-(1)-ウ 328頁
活動指標名			計画値	実績値
旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジ着工			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジに着工し、平成26年度に供用開始することで、クルーズ船利用者における安全性・快適性・利便性の確保を図ることができる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港国際旅客ターミナル整備事業	国直轄	那覇港における泊ふ頭地区の旅客ターミナル整備事業の推進	—
那覇港国際旅客ターミナル整備事業	那覇港管理組合	泊ふ頭地区の旅客ターミナル整備、ボーディングブリッジ整備事業の推進	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港におけるクルーズ船寄港回数	53回 (23年)	集計中	80回	集計中	—
那覇港の年間旅客者数	59万人 (23年)	集計中	90万人	集計中	9,710万人 (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
那覇港におけるクルーズ船寄港回数	57回 (21年)	52回 (22年)	53回 (23年)	→	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾施設の早期整備・拡充やより一層の観光客誘致活動など、旅客者受入体制の充実に向けた対応が必要である。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・近年、那覇港へのクルーズ船寄港が増加しており、観光客の受入体制の充実に向けた旅客ターミナルビルの整備が課題となっている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と那覇港管理組合は、クルーズ観光客に対応した早期旅客ターミナルビル整備、ボーディングブリッジ整備等、受け入れ体制の強化を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、観光客の受入体制の強化のための旅客ターミナルビル、ボーディングブリッジの早期整備を行い、地元的那覇市や旅行会社、観光協会など関係機関等と協働し、観光客、船社の満足度が上がるような取組を図っていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港コースタルリゾートウォーターフロント整備事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港は日本有数の国際クルーズ船寄港地であるが、旅客ターミナル等が整備されていないため、利用者は炎天下や雨天時に移動を強いられるなど利便性や快適性に課題を抱えている。今後は、クルーズ船誘致に向けた更なる取組強化とともに、安全性・快適性・利便性の確保など観光客の受入体制の充実にに向けた対応が必要である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港における海洋レクリエーション活動に対応したコースタルリゾート及びウォーターフロントの整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	環境アセス				埋立造成 緑地整備		→  那覇港管理 組合
	用地造成、緑地等の整備						
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港コースタルリゾートウォーターフロント整備事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	浦添ふ頭地区の小船溜まり整備・海浜緑地整備にかかる環境アセス(方法書関連)、泊ふ頭地区の緑地(泊)の整備を推進する。	再掲 3-(2)-ウ 172頁
活動指標名			計画値	実績値
環境アセス			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	浦添ふ頭地区の小船溜まり整備、海浜緑地整備にかかる環境アセス(方法書関連)、泊ふ頭地区の緑地(泊)整備を実施することで、海洋リゾート地にふさわしい魅力ある港となり、観光客を含む那覇港旅客者の増加が期待できる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港コースタルリゾートウォーターフロント整備事業	那覇港管理組合	浦添ふ頭地区の小船溜まり整備・海浜緑地整備にかかる環境アセス(準備書関連)、泊ふ頭地区の緑地(泊)整備を推進する。	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の年間旅客者数	59万人(23年)	集計中	90万人	集計中	9,710万人(23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾施設の早期整備・拡充やより一層の観光客誘致活動など、旅客者受入体制の充実に向けた対応が必要である。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・浦添ふ頭地区の小船溜り、海浜緑地の整備方針や整備スケジュールについて、那覇港管理組合と構成団体(県、那覇市、浦添市)は連携を密に図る必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と那覇港管理組合は、埋立事業の効果の早期発現のため、地元(浦添市)の工事と連携して早期整備を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、構成団体(那覇市、浦添市)と密に連携を図り、浦添ふ頭地区の小船溜り、海浜緑地の早期利用を図っていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港人流機能強化関連事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港は日本有数の国際クルーズ船寄港地であるが、旅客ターミナル等が整備されていないため、利用者は炎天下や雨天時に移動を強いられるなど利便性や快適性に課題を抱えている。今後は、クルーズ船誘致に向けた更なる取組強化とともに、安全性・快適性・利便性の確保など観光客の受入体制の充実にに向けた対応が必要である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港利用者の安全性・快適性・利便性の確保に向け、緑地や利便性向上施設等の整備、クルーズ受入促進事業などを推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	緑地、みなとまちづくり、利便性向上施設等の整備					→	那覇港管理 組合
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港人流機能強化関連事業	那覇港管理 組合	那覇港管理 組合	那覇港における那覇ふ頭波の上緑地整備、浦添ふ頭緑地(東)整備、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー)等の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	那覇ふ頭波の上緑地整備、浦添ふ頭緑地(東)整備、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー)などを実施することで、那覇港における安全性・快適性・利便性を確保することができ、観光客を含む旅客者の増加が期待できる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港人流機能強化関連事業	那覇港管理組合	那覇港における浦添ふ頭緑地(東)整備、クルーズ受入促進事業(歓送迎セレモニー)等の推進	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の年間旅客者数	59万人(23年)	集計中	90万人	集計中	9,710万人(23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾施設の早期整備・拡充やより一層の観光客誘致活動など、旅客者受入体制の充実にに向けた対応が必要である。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・近年、那覇港へのクルーズ船寄港が増加しており、観光地としての快適な周辺環境の整備、観光客受入時のセレモニー等の重要性が増している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と那覇港管理組合は、観光客の安全性・快適性・利便性を考慮した緑地の整備、観光客受入体制の強化を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、地元的那覇市や旅行会社、観光協会など関係機関等と協働し、受入セレモニーの充実など、観光客、船社の満足度が上がるような取組を図っていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港臨港道路整備事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港では、港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、貨物船と旅客船・フェリーの混在、台風時及び冬季風浪時の港内波浪等が問題となっており、利便性の向上や効率的で安全な港の整備が求められている。さらに、近年の船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地、上屋等の充実、港湾貨物の円滑な輸送を確保する臨港道路等の整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港と背後地あるいは那覇空港との連携を図るとともに、各ふ頭間の円滑な交通を確保するため臨港道路の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	臨港道路港湾1,2号線改良等		臨港道路新港1号線整備			→	国 那覇港管理 組合
	臨港道路の整備						
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港臨港道路整備事業	国直轄	国直轄	那覇港における臨港道路整備の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁
那覇港臨港道路整備事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	那覇港における港湾1, 2号線改良(交差点改良等)の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁
活動指標名			計画値	実績値
臨港道路港湾1,2号線改良等			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	臨港道路(交差点改良等)事業を実施することで、物流輸送について那覇港と背後地あるいは那覇空港との連携を図るとともに、各ふ頭間の円滑な交通を確保することができる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港臨港道路整備事業	国直轄	那覇港における臨港道路整備の推進	—
那覇港臨港道路整備事業	那覇港管理組合	那覇港における港湾2号線改良(液状化対策)の推進	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・各ふ頭間の円滑な交通を確保するため臨港道路の早期整備が必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県は国に対し、事業着手している臨港道路の早期整備を要望していく。また、那覇港管理組合とともに、臨港道路の早期整備を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県としては、国に対し、早期整備や必要予算の確保等の要望を行うなど、事業の促進を図る。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港防波堤整備事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港では、港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、貨物船と旅客船・フェリーの混在、台風時及び冬季風浪時の港内波浪等が問題となっており、利便性の向上や効率的で安全な港の整備が求められている。さらに、近年の船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地、上屋等の充実、港湾貨物の円滑な輸送を確保する臨港道路等の整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港における台風時及び冬季風浪時の港内波浪等が問題となっており、利便性の向上や効率的で安全な港の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	防波堤の整備					→	国
	担当部課 土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港防波堤整備事業	国直轄	国直轄	那覇港における防波堤整備の推進	—
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
—			—	—
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	防波堤整備事業を実施することで、港内の静穏度及び船舶航行の安全が向上している。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画				
事業区分	当初予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港防波堤整備事業	国直轄	国直轄	那覇港における防波堤整備の推進	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

—
---

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258 万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、波浪、港内波浪に対応する防波堤の早期整備が望まれる。</li> </ul>
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国に対し、防波堤の早期整備を要望していく。</li> </ul>
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県としては、国に対し早期整備や必要予算の確保等の要望を行うなど、事業の促進を図る。</li> </ul>
--

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港国際コンテナターミナル事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	沖縄の経済社会活動を支える拠点港湾である那覇港については、沖縄県の新たなリーディング産業として期待される臨空・臨港型産業の集積に向け、国際・国内貨物を取り扱うロジスティクスセンターや国際コンテナターミナル等の整備、航路網の充実、那覇空港との効率的な機能分担(シーアンドエア)等により国際的な物流拠点にふさわしい港湾機能の強化を図っていく必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港国際コンテナターミナルにガントリークレーン、冷蔵コンテナ電源の増設を進めており、荷役の効率化、増加する冷蔵コンテナ需要への対応を図り、物流拠点にふさわしい港湾機能の強化を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	ガントリークレーン1基	ガントリークレーン1基					那覇港管理 組合
	冷凍コンテナ電源整備						
	ガントリークレーン・冷蔵コンテナ電源整備						
担当部課 土木建築部港湾課							

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港国際コンテナターミナル事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	那覇港におけるガントリークレーン整備、リーファー電源整備の推進	再掲 3-(1)-エ 161頁 3-(4)-ア 193頁
活動指標名			計画値	実績値
ガントリークレーン1基、冷凍コンテナ電源整備			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	ガントリークレーンを増設することで、2隻同時着岸時にも安定的な施設の提供が可能となり、荷役時間の短縮が見込まれる。 冷蔵コンテナの電源を増設することで、冷蔵コンテナの利用増加が見込まれる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港国際コンテナターミナル事業	那覇港管理組合	那覇港におけるガントリークレーン整備の推進	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258 万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・接岸している船からの荷役に時間を要しており、時間短縮のための施設整備が必要である。  
 ・増加している冷蔵コンテナに対し、冷蔵コンテナ電源が不足している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と那覇港管理組合は、荷役時間短縮のためのガントリークレーンの早期整備、冷蔵コンテナに対応する冷蔵コンテナ電源の早期整備を図っていく。

4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、利用者の満足度が上がるような施設の早期整備を図っていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港総合物流センター事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	沖縄の経済社会活動を支える拠点港湾である那覇港については、沖縄県の新たなリーディング産業として期待される臨空・臨港型産業の集積に向け、国際・国内貨物を取り扱うロジスティクスセンターや国際コンテナターミナル等の整備、航路網の充実、那覇空港との効率的な機能分担(シーアンドエア)等により国際的な物流拠点にふさわしい港湾機能の強化を図っていく必要がある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	港湾管理者において、可能性調査により、那覇港総合物流センターの需要の見込みや入居企業のニーズの把握、施設の仕様、規模、工法、運営方法等を検討したところである。今後、整備着手にむけて条件整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	可能性調査	設計 基礎工事	建築工事	→			那覇港管理 組合
	総合物流センターの調査・整備						
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港総合物流センター事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	総合物流センターの需要の見込みや入居企業のニーズ、施設の規模、運営方法等を検討する可能性調査を推進する。	再掲 3-(1)-エ 161頁 3-(4)-ア 193頁
活動指標名			計画値	実績値
可能性調査			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	那覇港総合物流センター整備の必要性が確認できた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港総合物流センター事業	那覇港管理組合	総合物流センター基本設計の推進	—

(3) これまでの改善案の反映状況

前年度同様、事業促進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258 万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

**状況説明** 目標値を達成すべく、利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。  
また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・事業費が大きく、施設の事業収支(事業計画)等を勘案すると、民間事業で整備することは困難である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・可能性調査においてコスト縮減を検討したところであるが、事業費が大きいため、沖縄振興特別推進交付金など公的資金の活用も視野に入れた財源の確保が必要である。

4 取組の改善案(Action)

・公的資金を活用する場合には、アジアにおける立地条件など、沖縄の特殊性を活かした新たな事業スキームの検討も必要である。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港物流機能強化関連事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港では、港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、貨物船と旅客船・フェリーの混在、台風時及び冬季風浪時の港内波浪等が問題となっており、利便性の向上や効率的で安全な港の整備が求められている。さらに、近年の船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地、上屋等の充実、港湾貨物の円滑な輸送を確保する臨港道路等の整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、船舶の大型化等に対応するため、各ふ頭の機能再編の実施、岸壁等の港湾施設の強化・拡充を図り、効率的で安全な港の整備を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	機能再編、貨物増大促進事業、岸壁・物揚場等の整備					→	国 那覇港管理 組合
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港物流機能強化関連事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	那覇港における機能再編調査、物流ビジネスモデル導入事業(県産品を輸出する仕組の検証、貨物社会実験)、生活物資安定供給対策事業(防風柵整備)等の推進	再掲 3-(1)-エ 161頁 3-(4)-ア 193頁
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	機能再編調査、物流ビジネスモデル導入事業(県産品を輸出する仕組の検証、貨物社会実験)、生活物資安定供給対策事業(防風柵整備)などを実施することで、利便性の高い効率的で安全な港の整備を計画的に推進することができる。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
那覇港物流機能強化関連事業	那覇港管理組合	那覇港における機能再編調査(港湾計画改訂作業、各ふ頭の機能再編作業等)の推進	-

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258 万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・那覇港では、港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、船舶の大型化や貨物船と旅客船・フェリーの混在等が問題となっていることから那覇港全体の港湾機能の再編・適正配置を実施していく必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・那覇港全体の港湾機能の再編・適正配置を実施するにあたっては、那覇港の全体計画となる既定の那覇港港湾計画を改定することが必要となってくる。

## 4 取組の改善案(Action)

・県と那覇港管理組合は、那覇港全体の港湾機能の再編・適性配置による強化を図るため、那覇港港湾計画の改定を早急に図っていく。

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-イ	人流・物流を支える港湾の整備		
施策	①那覇港の整備			
主な取組	那覇港産業推進防災事業	実施計画 記載頁	155	
対応する 主な課題	那覇港では、港湾施設の狭あい化による利用効率の低下、貨物船と旅客船・フェリーの混在、台風時及び冬季風浪時の港内波浪等が問題となっており、利便性の向上や効率的で安全な港の整備が求められている。さらに、近年の船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地、上屋等の充実、港湾貨物の円滑な輸送を確保する臨港道路等の整備が課題となっている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	那覇港における生活基盤の機能維持・強化のために、旅客待合所、上屋の耐震化対策、老朽化対策及び長寿命化対策等を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		耐震判断	耐震設計	耐震化設計・工事	耐震化工事	→	那覇港管理 組合
	旅客待合所、上屋の耐震化等整備						
担当部課	土木建築部港湾課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
那覇港産業推進防災事業	那覇港管理組合	那覇港管理組合	那覇港船客待合所、上屋における耐震事前調査の推進	再掲 3-(2)-ウ 172頁
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	那覇港船客待合所、上屋における耐震事前調査を実施することで、利便性の高い効率的で安全な港の整備を計画的に推進することができる。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画				
事業区分	当初予算	活動内容	備考	
那覇港産業推進防災事業	那覇港管理組合	那覇港船客待合所、上屋における専門家による耐震診断の推進	-	

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

計画通りに進捗しており、前年度同様、事業促進を図る。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
那覇港の取扱貨物量	1,004万トン (23年)	集計中	1,950万トン	集計中	278.258 万トン (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標値を達成すべく、安全で利便性の高い港湾の早期整備・拡充を推進し、国際交流・物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図る必要がある。 また、那覇港管理組合においては、21世紀ビジョン基本計画が策定されたことから、既定の港湾計画の改訂作業を行っているところである。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・築年数が古いため、耐震化より建替えが必要と思われる建物が複数ある。
- ・現在、那覇港港湾計画改訂及び機能再編計画作業中より、これらの計画との整合を取る必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・旅客待合所・上屋の関係機関、関係会社等との調整が必要である。

## 4 取組の改善案(Action)

- ・県と那覇港管理組合は、事業実施するにあたり、これまでと同様の円滑な人流・物流を確保するため、旅客待合所・上屋の関係機関や関係会社等と、一時移転なども含め詳細な調整を図っていく。